

トレーディングカードゲームの初心者向けルールブック比較

島田 満

トレーディングカードゲームは、一般にトレーディングカードとして販売されている専用のカードを用いて行うカードゲームのことをいう。その多くは自分と相手の二人で行う対戦形式のゲームである。初心者がトレーディングカードゲームを初めてプレイする際は、ゲームを遊ぶために最低限必要な決まったカードが封入されているスターターセットを購入するようにメーカーが推奨している。しかし、スターターセットに同梱されている初心者向けのルールブックの中には、厳密なルールも紹介するためにスターターセットでゲームをプレイする分には過剰な情報が書かれているものがあり、そのためルールブックのページ数や文字量が増えゲームをプレイするために最低限必要な情報がわかりづらい、あるいは最近のゲームでは手軽さを重視したコンパクトなルールブックになった結果、スターターセットでゲームをプレイするのにも手間取るものもある。

本研究では、初心者向けルールブックはどのような事項を説明すべきかという問題意識のもとで、最近のコンパクトなルールブックに着目し、ルールブックがコンパクトになっても残る項目と、そうでない項目を明らかにすることを目的とする。また、記載されなくなった項目が初心者のゲームの理解にとってどのような意味があったのかを考察する。

本研究では2014年までにメーカーから市販されていた初心者向けスターターセットに同梱されている24タイトルのルールブックを収集し、それらを形態、最新のスターターセット発売日、最初の商品発売日、見出しの数、ページ数、一文の最大文字数、専門用語の数、図表の数について分析した。また、21タイトルのルールブックに対しては見出しを世界観、ルール、進行、行動、コラム、Q&A、用語集・サマリー、マンガの8つの項目に分類し、その出現率を比較した。その結果、コンパクトなルールブックでも、ゲームをプレイするために必要な情報は省かれずに書かれていることを明らかにした。また、コラムやQ&Aといった、ルールそのものではないが、初心者のゲームへの理解を助けていた部分がコンパクトなルールブックでは少なくなっていることを明らかにした。これらの要素が初心者のより深いゲームの理解につながっていたことが示唆される。

(指導教員 大澤文人)